



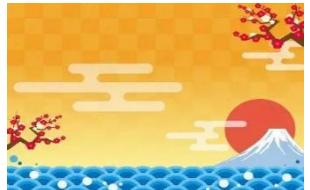
チームたかとく・はくれい

「なかよく学び すすんで働く」「希望・意欲・自立」

子どもの育成を目指して -本校 校長たより⑯-

~自分のできることで、まわりの人を笑顔にしよう!幸せにしよう!~

令和8年1月7日本校



上松 武

令和8年が、子どもたちや先生方、保護者の皆様、地域の方々にとって、幸多き一年になりますように！ 本年も、どうぞよろしくお願ひします。

■「午年」～挑戦の一年に～

- ・「午年」は、力強さ、行動力、前進、成功を象徴し、新しい挑戦や物事の発展に適した年です。特に、今年は60年に一度の「丙午（ひのえうま）」。火のような情熱とエネルギーで道を切り開く縁起の良い年だそうです。
- ・学校経営に関しては、次に述べるように、「挑戦」の一年にしていきたいと考えています。
- ・縁起の良い「午年」にあやかり、子どもたちの自立と社会参加に必要だと思ったことは、校内外の仲間と豊かなコミュニケーションのもと同僚性を発揮しながら、躊躇なく、ドンドン挑戦していきましょう。



■令和8年 貢献と発信 ～教室で学び、地域で生かし、地域を変える～

- ・本校では、採用1年目の先生方が授業研究を行いました。職員会議資料や校長たよりに掲載した際のタイトルです。

- 子どもに期待する教師の姿
- 「できた」「わかった」を待てる教師の姿
- 「主体的」とはまさにこのことですね
- 「これをつくる！」とやりたいことが明確になる授業

- ・採用1年目の先生方の、児童生徒への指導支援や関わり方に対するひた向きな姿に、教師魂が触発されました。ただただ目の前の子どもたちに私は何ができるのかを貪欲に追求していました。このような子どもたちと教師の学びが教室（学校）にあるべきです。先生方の奮起に感謝です。

○地域へ貢献

- ・このような子どもたちの学びが教室（学校）で留まるのではなく、日常の生活や地域のために生かす授業づくりに広げてこそ、「生涯に渡る確かな学び」につながります。
- ・地域で生かす学習活動を通じて、地域の人たちの間に障害のある人たちへの理解が進み広がり、地域の人たちが関わり方を考えたり工夫したり、逆に学ぼうとしたりするのではないかと期待が膨らみます。地域へ貢献することで、誰もが自分らしく生活できる「まち」に変わっていくのではないかでしょうか。

○地域へ発信

- ・また、地域の人たちから学校に足を運んでいただく機会を今よりも少しづつ多くしていき、児童生徒が学んでいる姿や先生方の指導支援の工夫を知ってもらう取組も進めていきたいと考えています。
- ・関係者向け学校説明会や学校紹介・作品展への参加など、児童生徒が自分と向き合って頑

張っている姿や、日々試行錯誤し研鑽に励んでいる先生方の姿を多くの人に知ってもらう発信をしなければなりません。このような発信によって、誰にとっても優しい「まち」に変えていきましょう。

○本年の学校経営

- ・子どもたちの学びが教室での学びで終わることなく、地域を少しでも良くしていこうという貢献につなげていきたい。そのような学びを障がいのある人たちが一生懸命に取り組んでいることを発信していきたい。
- ・本年は「貢献」と「発信」を柱に据えて、お互いを尊重し合う社会になるよう学校経営をしていきます。そして、年度当初に掲げた「学校づくりは、まちづくり」を実現していきます。のために、皆さんと一緒にワクワクドキドキしながら、様々な教育活動に挑戦していきます。よろしくお願ひします！

■個別の指導計画の改善へ～第2回おしゃべり会での話合いの結果を受けて～

- ・10月22日（水）に実施した2回目のおしゃべり会では、たくさんの改善点と改善策を挙げていただきました。ありがとうございました。
- ・大変遅くなりましたが、次のように改善点をまとめ、今後の学校評価委員会や職員会議で詳しく説明します。その後、具体的な改善を図っていきます。よろしくお願ひします！

□改善点

- ①目標設定に関して
- ②様式に関して
- ③作成日程に関して

□今後の対応

- ・学校評価委員会で説明し、出された改善策を基に対応を検討し実行する。

「即実行」→ 可能な範囲で年度内に実施

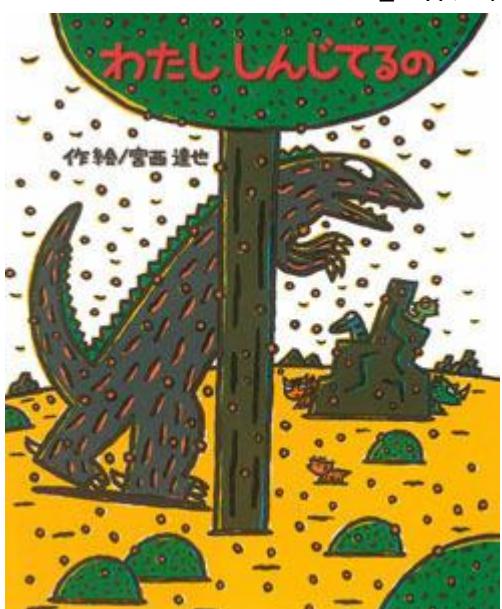
「工夫次第」「検討が必要」

→ 学部や校内の分掌組織を活用して、令和8年度より検討を開始

※検討内容によっては、令和7年度内に検討開始)

■書籍の紹介

『わたし しんじてるの』 作／絵 宮西達也 ポプラ社



内容紹介

トリケラトプスの子リケラは、ほらあなにとじこめられたおとうさん、おかあさんをたすけようとちからのかいきょうりゅうをさがしにでかけます。

サイカニア、パキケファロサウルス、アナトティタン、スティラコサウルスが岩をどけようとしても岩はすこしもごきません。

リケラは、みんながおそれるティラノサウルスにたつたひとりでたのみにいくことにしました。

さいしょは、トリケラトプスのこたちをつかまえてしまおうとおもっていたティラノサウルスでしたが、自分をしんじきてみつめるリケラにティラノサウルスはだんだんと優しいきもちをいだくようになって……。

「おまえうまそうだな」に始まる大人気の絵本「ティラノサウルス」シリーズの第10巻です。

(楽天ブックホームページより)